

【水害対策】

台風第 19 号対応検証結果報告

5 つの課題に対する対応

～安全なまちをつくる～

環境安全部危機管理防災課

令和元年台風第 19 号対応についての検証結果を報告します

市では、初めての避難情報「避難指示（緊急）」を、予告周知はしていたものの、結果的には深夜いきなりの形で発令することとなり、市民に大きな混乱をもたらしました。その対応の検証作業を、実態把握、課題の抽出、検証会議等を踏まえ、課題に対する対策案を検討してまいりましたので、その結果を報告します。

主な対策案（詳細別添報告書参照）

課題 1 避難情報の周知

- 【情報のツールを拡充】 ⇒ 「防災ラジオ」を希望する全世帯に無償貸与
⇒ 「防災アプリ」を整備（令和 3 年 4 月運用開始予定）

課題 2 避難情報発令のタイミング

- 【避難情報を追加】 ⇒ 「自主的広域避難情報」を追加
- 【災害対策本部の運営を拡充】 ⇒ 「災害対策情報収集室」を設置

課題 3 避難所の確保

【避難場所の種類と名称を分かりやすく見直し】

- ⇒ 「7 区分」から「4 区分」へ
①水害時避難場所 ②水害時【緊急】避難場所
③市外広域避難場所 ④福祉避難所

【市内広域避難先の見直し】

- ⇒ 樋遣川地区 → 加須小、加須南小、三俣小、キャッスルきさいへ
- 大越小 → 不動岡小、礼羽小、キャッスルきさいへ
- 北川辺地域 → 主に加須地域の小中学校（上記以外）、市民プラザかぞ、ほか公共施設等へ
- 大利根地域 → 主に騎西地域の小中学校、ふじアリーナ、田ヶ谷総合センター、ほか公共施設等へ

課題 4 避難所の運営

【避難所の資機材、備蓄品等を整備】

- ⇒ 全ての避難場所に、避難所開設時の初動対応に必要な資機材（発電機、投光器、燃料）、受付用具等消耗品セットを整備

課題 5 移動の手段・経路

【広域避難経路を選定】

- ⇒ 遠回りでも安全に通行可能な推奨できる国道、県道、幹線 1 級市道の経路を選定